

平成26年度事業報告書

平成26年度「一ツ瀬川県民レクリエーション施設」の管理に関する管理業務の実施状況及び利用状況並びに料金収入の実績及び管理経費等の収支状況は、次のとおりです。

1 管理業務の実施状況

(1) ゴルフ場管理運営

① ゴルフコースの利用状況

目標利用者数 33,500 人に対して利用者実績は、33,982 人となり平成22年度から厳しい状況が続いていたが、目標達成率 101.4%、対前年度(32,714 人) 1,268 人増となった。

4 月は僅かに伸び悩んだが、最も気候の良い5月から7月では、昨年並みに雨も降ったもののコンペ開催日を避け天候に恵まれたこと、また12月・2月の雨が少なかったことが影響して目標を上回る実績となった。

しかし3月に入ってから雨も多くなり、さほど大きな伸びはなかった。

○ 利用者の内訳

〈高齢利用者〉

平日の65歳以上の利用者は、19,249人で全体の56.6%を占めた。

平成19年度44.6%、20年度44.8%、21年度48.0%、22年度50.5%、23年度52.0%、24年度53.7%、25年度54.3%と全体利用者数の高齢ゴルファーの比率は年々増え続けている。

高齢化が進行していることに加えて、利用料金が割安になること、高齢者向けの主催コンペを多彩に開催していることによる。

〈女性利用者〉

女性利用者数は、3,360人で全体の9.9%となっている。

前年度(2,917人、8.9%)に較べると、人数は443名の増である。

女性を対象とした主催コンペ(レディースコンペ・ルピナスコンペ)を開催しており年々定着してきていると思われる。

〈地域別利用者〉

1位宮崎市(含清武・佐土原) 17,731人 全体比52.2%

2位新富町 6,563人 19.3%

この2市町で全利用者数の71.5%を占める。
近隣の西都市、児湯郡、宮崎市の総計は31,747人、93.4%である。

○ 利用料金収入状況

利用人員は目標を上回ったが、利用料金収入は77,330,470円と当初の目標額77,720,000円に対し、389,530円減となり、人数の伸びほど収入は伸びていない。

年々一人当たり利用料金単価が低下していることによるが、その要因として、高齢者の増加、ハーフプレイ利用者の増加、休日利用者の伸び悩み、ひとつせ友の会20ポイント適用者の増加などが挙げられる。

利用料金単価の低下傾向は今後も持続すると思われるが、必要な収入確保のためには、休日に魅力あるイベントや誘客対策を数多く実施し、利用者数を増やす対策を考える。

② 施設の管理運営

・ ゴルフコースの管理

コースの適正管理は、ゴルフ場の生命線であることを念頭に置き、通常のコース管理業務に加え、グリーンを重点においたコース管理をおこなった。

また、利用しやすいコースづくりに努め、FWの雑草を防除している。

ラフは多年生雑草が多くプレーの影響の無いよう芝の刈込を実施してアベレージゴルファーが楽しめるコース管理を行なった。

・ コースの環境管理

農薬等の使用に関しては、「環境保全管理協議会」に諮りながら、安全使用に努めた。

また、コース及び周辺の水質検査を行ったところ、異常は見られなかった。

a 環境保全管理協議会開催 委員9名（県、町、地元、漁協、財団）

開催日 4/22, 7/22, 10/23, 1/26

（年4回）

b 水質検査の実施

生活環境項目 年4回 3カ所取水

アセフェート含有 年2回 3カ所池取水

硝酸性窒素含有 年1回 2カ所井戸取水

・ 建物等付属施設の管理

当センターのハウス施設及び付属施設については、日常活動の中で各施設が正常に機能し、維持されるよう管理に努めた。

なお、以下の業務については、外部機関に委託執行した。

- a 施設清掃業務
- b 施設夜間警備業務
- c 消防設備法定点検業務
- d 浄化槽維持管理、法定点検業務
- e 一般廃棄物処理業務
- f 衛生害虫害獣駆除防除業務

③ 誘客対策の推進

・ 割引料金の設定

毎週土曜日に「県民感謝デー」を設定して誘客を行なった。

また連休の続く5月の祝日及び夏場の主催コンペのない日曜日に特別料金を設定するなど促進対策に努め成果を上げることができた。

- 実施日 県民感謝デー 51日/年間（毎週土曜日）
特別料金（5/5.6.18 7/27 8/24 9/21 11/16）
- 利用者数 4,118人
- 割引内容 「食事付4,300円」（利用料金970円引き）

・ 「ひとつせ友の会ポイントサービス」の運用

リピーター確保の一環として平成18年10月から開始した「ひとつせ友の会ポイントサービス」が順調な伸びを示している。

- 平成27年3月31日現在の友の会会員数 4,348人
(前年度末日3,848人)
- 平成26年度20ポイントサービス提供者数 1,192件(プレイサービス)
- 〃 10ポイントサービス提供者数 1,101件(食事サービス)

・ 「とくとくーツ瀬川プレー回数券」の発売

使用実績

休日フリー型回数券 72枚×@3,690(300円割引) = 265,680円
(1冊12枚綴り、6セット)

・ 幹事おまかせセンターの運営

コンペ誘致、定着策の一環として、コンペの幹事が担う役割を一切引

き受ける「幹事おまかせセンター」を開設している。

○ 平成 26 年度 引受処理件数 48 件

・ 「施設利用促進協議会」の運営

誘客策の中核を担う機関として「施設利用促進協議会」を、県企業局、新富町、新富町シルバー人材センター及び財団の参加を得て結成し、積極的な誘客対策を推進した。

a 主催コンペの開催

区分	コンペ名	参加人数	備考
定期	休日月例	1,153	
	ルピナス(女性)	273	
	レディス(女性)	506	
	グランドシニア(70歳以上)	968	
	エルダー杯(60歳以上)	3,973	
	平日月例	1,448	
	シニア月例(60歳以上)	3,111	
	2金杯	661	
	4金杯	726	
		小計	
不定期	休日スポンサー杯等	770	
	グランドマンスリー	164	
	県電杯	1,024	
	スポレク杯	717	
	企業局杯	473	
	スポットコンペ	91	
		小計	
年間参加者累計		16,058	対総利用人員 47.3%

※ 平成26年度努力目標 16,450 達成率97.6%

※ 延べ開催回数 172回

※ 対総利用人員比率

平成 25 年度 16,417 ÷ 32,714 ≒ 50 %

平成 24 年度 15,969 ÷ 32,489 ≒ 49.1 %

平成 23 年度	15,613 ÷ 33,530 ≒ 46.6 %
平成 22 年度	16,542 ÷ 36,605 ≒ 45.2 %
平成 21 年度	16,687 ÷ 40,808 ≒ 40.9 %

b その他の主な誘客活動

休日コンペ割引	3,749 人
レディースデー割引	249 人
ひとつせエージシューター表彰	23 人(1 人 1 回に限る)
休日の 30 歳以下の料金割引	57 人

(2) 収益事業

① カート貸出状況

※ 保有台数は年度末現在

機 種	保 有 台 数	保 有 形 態	平成 26 年度		(参考) 前年度の実績	
			貸出人数	稼働率	貸 出	稼働率
手引	50	所 有	5,933	32.6	貸 出 6,104	稼働率 16.7
電動歩行	14	リース	1,810	35.5	2,730	37.4
ガソリン 2 人乗	36	所 有	19,651	75.0	16,028	56.3
電動 2 人乗	8	所 有	1,935	33.2	2,690	36.8

【注】・ 乗用カートのハーフ利用人数 2,050 人は、ガソリン 2 人乗に一括計上
 ・ 稼働率 貸出人数 ÷ (保有台数 × 364 日) ← 乗用の場合、更に 2 で除す。

利用者の多様なニーズに応えるべく数種のカートを導入している。
 各種カートの貸出状況は上表のとおりである。

「手引カート」は、電動、乗用の導入やマイカートの普及で貸出台数は下降線を辿っているが、健康づくりを願って歩行するゴルファーも多く、依然として根強い需要がある。

しかし乗用カートの利用者が増えてきており、今後は「乗用カート」の新たな導入も考えている。

② 売店運営

販売する商品は、ゴルフ用品に加えて地元産品の取り扱いに重点を置いた品揃えとした。

ただし、商品のマンネリ化により収入が減額しているため、新たな商品の取り扱いを行っていく。

○ 販売手数料額 2,504 千円

(3) レストラン運営事業

レストランは、引き続き「運営の効率化及び内容満足度の向上」を基本方針として、運営に当たった。

年度当初に実施した利用者満足度調査においても、内容・品揃え・価格等全般的に高い評価を頂いた。

一方、売上収入の方は、利用人員の減少と、喫食単価の低下傾向により売上高は減少している。

※ 喫食単価の推移

①総利用人員に係る単価

26年度	25年度	24年度	23年度	22年度	21年度	20年度
597.3円	612.2円	616.5円	620.1円	652.5円	674.8円	702.9円

②実喫食人員に係る単価

26年度	25年度	24年度	23年度	22年度	21年度	20年度
783.9円	794.4円	786.4円	800.6円	813.6円	861.1円	869.9円

2 施設の利用状況

(1) ゴルフ場管理運営

ゴルフコース利用人数	33,982人
収入	77,429,623円
支出	72,851,839円
収支差額	4,577,784円

(2) 法人

支出	3,386,076円
収支差額	▲3,386,076円

(3) 収益事業

利用人数	29,329人
収入	16,002,401円
支出	13,178,528円
収支差額	2,823,873円

(4) レストラン会計

利用人数	25,893人
収入	20,297,260円
支出	22,521,571円
収支差額	▲2,224,311円

(5) 収入、支出の合計

収入	113,729,284円
支出	111,938,014円
収支差額	1,791,270円

公益目的支出

支出	1,000,000円
収支差額(指定財産の減少)	▲1,000,000円

3 添付書類

- (1) 収支計算書
- (2) 正味財産増減計算書
- (3) 貸借対照表
- (4) 財産目録